

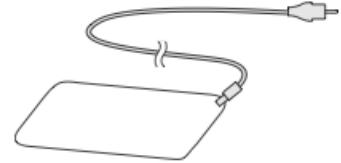
(前面部分)

- ①にハンドピースコード先を接続します。
※差し込める方向が一定になっておりますので、ご注意ください。
- ②にバイポーラコード先端を接続します。
- ③に対極板のコード先端を接続します。
- ⑥の電源をONにすると内部点検を行い電源がつきます。

※対極板の設置位置に関して※

リユース対極板は服の下に設置するだけで使用可能
患部に近い位置に設置してください。

(例) 顔面の処置をする際は肩口の下に設置



<出力設定値を変更する場合>

- 1.④もしくは⑤を押して出力を設定したいモードに合わせます。
- 2.⑦もしくは⑧の上下ボタンを押して出力設定を上下させます。

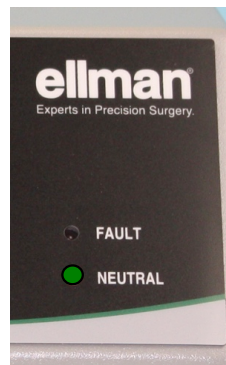
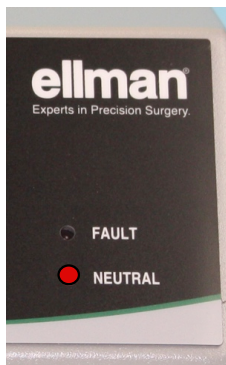
<対極板監視装置>

対極板監視装置を内蔵しており、対極板が正しく接続されていない場合や断線している場合
「NEUTRAL」表示が赤色に代わり、警告音が鳴り続けます。

赤色時はモノポーラ出力が一切出来なくなります。

対極板が不要なバイポーラモードは出力可能ですが、警告音は消せません。

正しく接続されますと「NEUTRAL」ランプ表示が緑色に点灯します。



<本体自動チェック機能について>

電源投入時に自動的に本体に異常がないかチェックしています。もし、異常があれば
警告音とともに「FAULT」ランプが点灯しエラー表記を出す仕様になっています。
エラーが出た際は一度電源を落としていただき、再度立ち上げ直していただくと復帰します。
再度エラーが出る際は**本体内部故障**の可能性が高いため修理をご依頼ください。

エラー表示例：Err：10 出力操作パネルを操作状態で電源を投入



代表的なエラー表示

- Err: 4 電源供給やエラーシステムが不安定になった際
- Err: 10 電源ON時に出力操作パネルを操作した際
- Err: 11 電源ON時に出力スイッチを操作した際
- Err: 13 正常に出力が出来ない状態になった際
- Err: 14 原因不明の異常が生じた際

※ Err13&14に関しては修理をご依頼ください。